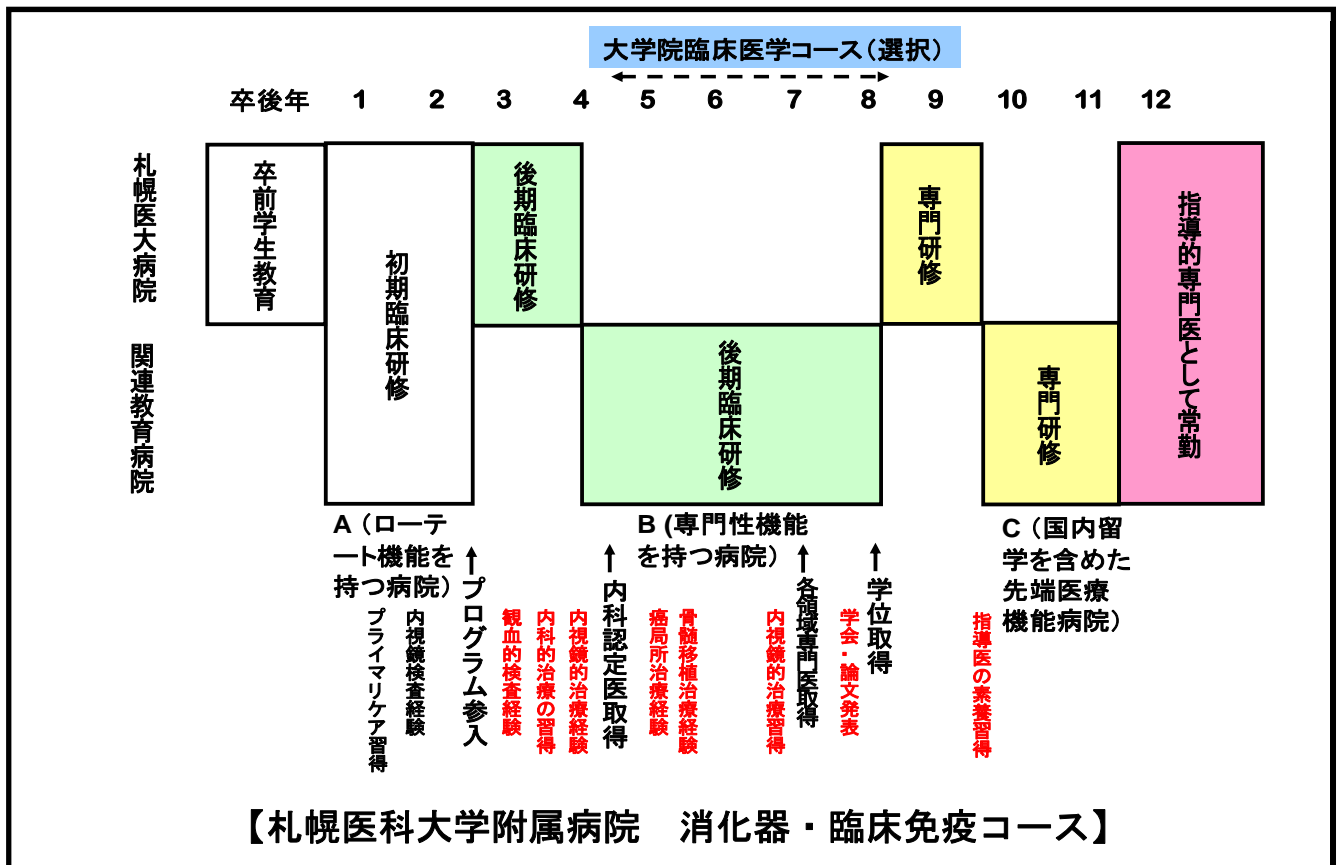


第1内科

消化器・臨床免疫コース

(1) コースの全体像

①1、2年目は、札幌大病院又は関連教育病院で希望する診療科をローテーションしながら研修し、幅広い知識を学ぶ。②3、4年目に大学病院で専門的な領域に絞って研修を行う。消化器内科、肝臓疾患、臨床免疫、血液疾患、膠原病・リウマチ科の各分野を数か月毎にローテート研修。内科領域を広くカバーするためにレクチャーに参加、発表を行う。③5年目以降は、専門分野の得意とする関連教育病院で、さらに2-3年間研修を行い、経験を深める。④7、8年目、大学病院において、さらなる専門領域の研修を行いつつ、専門医取得の準備に入る。この際、希望者は大学院臨床医学コースに入り臨床研究を併行し学位の取得を目指す。⑤続いて2-3年間、関連教育病院で専門性を活かした研修を行い、専門医及び学位を取得。⑥希望者は、国内外留学し、より高度な専門性を修得し指導医としての素養を備える。②⑤⑥の一部は、他コースの一部を選択できる。



(2) コースの概要

コース名：札幌医科大学附属病院 消化器・臨床免疫コース						
大学病院・医療機関名	診療科名	専門分野名	指導者数	目的	養成(受入)人数	期間
札幌医科大学附属病院	消化器・臨床免疫・膠原病・リウマチ科(第一内科)	一般内科・消化器内科・臨床免疫内科・膠原病・リウマチ科	12	消化器内科、臨床免疫、リウマチ科の専門的研修。 他コースの研修医も研修可能(3～12ヶ月)。	5	4～5年
同交会病院	内科	一般内科 消化器外科	8	消化器内科、臨床免疫、リウマチ科の専門的研修(大学のサテライト的役割)。他コースの研修医も研修可能。	1	1～3年
慈啓会病院	内科	一般内科 消化器外科 老年医療	8	老年医療、一般内科、消化器内科の研修。他コースの研修医も研修可能。	1	1～3年
札幌道都病院	内科	一般内科 消化器内科	6	消化器内科の研修。 他コースの研修医も研修可能。	1	1～3年
天使病院	内科	一般内科 消化器内科 血液内科	5	一般内科、消化器内科の研修。 特に血液・免疫疾患の研修。他コースの研修医も研修可能。	1	1～3年
札幌厚生病院	内科	消化器内科	9	消化器内科(消化管・胆管膵臓の研修)。他コースの研修医も研修可能。	1	1～3年
札幌ひばりが丘病院	内科	一般内科 消化器内科 緩和医療	4	消化器内科の研修。癌の緩和医療。他コースの研修医も研修可能。	1	1～3年
北海道済生会小樽病院	内科	一般内科 消化器内科	4	一般内科、消化器内科の研修。 他コースの研修医も研修可能。	1	1～3年
帯広協会病院	内科	一般内科 消化器内科	3	一般内科、消化器内科の研修。 他コースの研修医も研修可能。	1	1～3年
広域紋別病院	内科	一般内科 消化器内科	2	一般内科、消化器内科の研修。 他コースの研修医も研修可能。	1	1～3年
市立釧路総合病院	内科	一般内科 消化器内科 血液内科 臨床免疫内科	9	一般内科、消化器内科、血液、臨床免疫の研修。他コースの研修医も研修可能。	2	1～3年
町立別海病院	内科	一般内科 消化器内科	2	一般内科、消化器内科の研修。 他コースの研修医も研修可能。	1	1～3年
恵佑会札幌病院	内科	一般内科 消化器内科	5	消化器内科の研修。特に食道癌の化学療法。 他コースの研修医も研修可能。	1	1～3年
恵佑会東病院	内科	一般内科 消化器内科	3	一般内科、消化器内科の研修。 他コースの研修医も研修可能。	1	1～3年
市立室蘭総合病院	内科	一般内科 消化器内科 臨床免疫内科	10	一般内科、消化器内科の研修。 血液・免疫疾患の研修。他コースの研修医も研修可能。	3	1～3年
手稲溪仁会病院	内科	一般内科 血液内科	6	消化器内科の研修。特に血液・免疫疾患の研修。他コースの研	1	1～3年

				修医も研修可能。		
JR 札幌病院	内科	一般内科 消化器内科 臨床免疫内科	5	一般内科、消化器内科の研修。 リュウマチ、アレルギーの研修。 他コースの研修医も研修可能。	1	1～3年
国立病院機構 北海道医療センター	内科	一般内科 消化器内科 臨床免疫内科	3	一般内科、消化器内科の研修。 アレルギー、禁煙外来の実際。 他コースの研修医も研修可能。	1	1～3年
函館五稜郭病院	内科	一般内科 消化器内科 臨床免疫内科	8	消化器内科の研修。血液、免疫 疾患の研修。外科との連携医療 の実際。他コースの研修医も研 修可能。	2	1～3年
道立江差病院	内科	一般内科 消化器内科	2	一般内科、消化器内科の研修。 他コースの研修医も研修可能。	1	1～3年
札幌しらかば 台病院	内科	一般内科 消化器内科	9	一般内科、消化器内科の研修。 他コースの研修医も研修可能。	1	1～3年
札幌しらかば 台篠路病院	内科	一般内科 消化器内科	3	一般内科、消化器内科の研修。 他コースの研修医も研修可能。	1	1～3年
札幌外科記念 病院	内科	一般内科 消化器内科	2	一般内科、消化器内科の研修。 他コースの研修医も研修可能。	1	1～3年
札幌第一病院	内科	一般内科 消化器内科	5	消化器内科、呼吸器内科の研 修。特に整形疾患との関連病変 の研修。 他コースの研修医も研修可能。	1	1～3年
市立小樽病院	内科	一般内科 消化器内科	7	一般内科、消化器内科の研修。 他コースの研修医も研修可能。	2	1～3年
札幌里塚病院	内科	一般内科 消化器内科	2	一般内科、消化器内科の研修。 他コースの研修医も研修可能。	1	1～3年

(3) コースの実績

2010年度、一年間における札幌医科大学附属病院第1内科・27 関連教育病院合わせたコース全体の内視鏡検査症例数は約6万例、消化器癌症例数は約2千例、肝胆膵癌症例は2,250例、膠原病リュウマチ症例数は約1,500例であり、日本内科学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本消化器病学会専門医、日本リュウマチ学会専門医、日本アレルギー学会専門医を取得するのに十分な実績を有している。

(4) コースの指導状況

札幌医科大学附属病院第1内科には21名の内科指導医(内、内科専門医3名)、10名の日本消化器内視鏡学会専門医及び3名の同指導医、11名の日本消化器病学会専門医及び2名の同指導医、2名の日本肝臓病学会肝臓専門医及び1名の同指導医、7名の日本がん治療認定医暫定教育医、1名の日本リュウマチ学会専門医及び2名の同指導医、2名の日本アレルギー学会専門医がおり、また関連医療機関にも指導医、専門医が常勤、または派遣され、学会指定修練施設あるいは関連施設になっている。

(5) 専門医の取得等

学会等名	日本内科学会
資格名	認定内科医
資格要件	< 専門医申請資格 >

	<p>1. 大学医学部を卒業し、受験申し込み時本会会員で会費を完納しているもの。</p> <p>2. 次のいずれかに該当する内科研修歴を有し、内科全般の研修を終了した者。</p> <p>① 臨床研修2年＋本会が認定した教育施設（内科臨床大学院含む）での内科研修1年以上＝計3年以上。</p> <p>② 臨床研修2年＋本会が認定した教育関連病院での内科研修1年以上＝計3年以上。</p> <p>（臨床研修必修化の研修の2年間は教育病院での研修扱いとする）</p> <p><申請書類></p> <p>A. 受持入院患者症例計18症例の一覧表。</p> <p>B. 上記18症例の病歴要約。</p> <p>1) 内科9分野からそれぞれ1症例を含む12例（病歴要約）</p> <p>2) 外科転科もしくは外科担当症例3例（病歴要約と手術記録）</p> <p>3) 救急（救急外来もしくは救急入院担当症例）2例（病歴要約）</p> <p>4) 剖検（他科での担当症例を認める）1例（病歴要約と剖検報告書）</p> <p>C. CPC、CC、学会発表、症例報告など受験者本人が自分の受持ち症例をプレゼンテーション（口頭発表）した中から資料を1部以上。</p> <p>D. 臨床研修修了証のコピー（2004年度以降の医師国家試験合格者）。</p> <p>E. ACLS（Advanced Cardiovascular Life Support）の受講証のコピー。</p> <p>F. 願書および提出書類のチェックリスト</p> <p><審査></p> <p>筆記試験の「総合得点」と「分野毎の得点」および「研修に関する記録の評価」の総合成績により合否判定を決める。</p>
--	---

学会の連携等の概要

当該学会主催の年次学術集会および専門医部会教育セミナーに参加し、内科全般の専門的知識を習得するとともに、地方会において積極的に発表を行い、臨床研究に努める。

学会等名	日本消化器病学会
資格名	消化器病専門医
資格要件	<p><専門医申請資格></p> <p>1. 日本国の医師免許証を有し、医師としての人格及び見識を備えていること。</p> <p>2. 申請時において継続4年以上本学会の会員であること。</p> <p>3. 会員として本学会が主催するポストグラデュエイトコース、支部教育講演会、JDDWが主催するJDDW教育講演のいずれかに1回以上の出席があること。（半日単位の教育講演会は2回以上の出席があること。）</p> <p>4. 申請時において認定内科医、外科専門医、放射線科専門医、小児科専門医のいずれかの資格を有すること。</p> <p>5. 認定内科医資格取得に必要な所定の内科臨床研修修了の後3年以上、外科専門医予備試験受験資格に必要な所定の外科臨床研修修了の後2年以上、放射線科専門医資格取得に必要な所定の放射線科臨床研修修了の後2年以上、あるいは小児科専門医資格取得に必要な所定の小児科臨床研修修了の後2年以上、本規則により認定される</p>

	<p>認定施設もしくは関連施設において臨床研修を修了していること。</p> <p><申請書類></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 専門医認定申請書 2. 履歴書 3. 認定施設研修修了証明書 4. 医師免許証（写） 5. 認定内科医、外科専門医、放射線科専門医、小児科専門医のいずれかの資格認定証（写） 6. 専門医研修カリキュラム <p><審査></p> <p>審議会は、年1回申請書類及び試験によって審査を行う。</p>
学会の連携等の概要	<p>当該学会主催の年次学術集会および教育講演会に参加し、消化器病学に関する知識を習得するとともに、支部例会においても積極的に発表を行い、より専門的な検索に努める。</p>

学会等名	日本消化器内視鏡学会
資格名	日本消化器内視鏡学会専門医
資格要件	<p><専門医申請資格></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本国の医師免許証を有すること。 2. 申請時において、5年以上継続本学会会員であること。 3. 指導施設において5年以上研修し、所定の技能ならびに経験をもっていること。 4. 申請時において日本内科学会認定医または日本外科学会認定医もしくは専門医のいずれかの資格を有すること。 <p><申請書類></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 専門医申請書 2. 履歴書 3. 医師免許証（写） 4. 5年以上継続会員証明書 5. 診療実績表（別表1の検査数） 6. 業績目録（別表2の業績ポイント） 7. 指導施設長の研修証明書（5年以上） 8. 指導医推薦書 9. 日本内科学会もしくは日本外科学会の資格認定証（写） <p><審査></p> <p>資格認定委員会は毎年1回申請書類及び学術試験によって審査をおこない、専門医として必要な条件を満足するものを専門医として認定する。</p>
学会の連携等の概要	<p>当該学会主催の年次学術集会・地方会に参加し、消化器内視鏡全般に関する専門的知識を習得するとともに、教育セミナーにも積極的に参加し、より高いレベルの技術習得に努める。</p>

学会等名	日本肝臓病学会
資格名	日本肝臓学会肝臓専門医
資格要件	<p><専門医申請資格></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本国の医師免許を有し、医師としての人格及び見識を備えている者。 2. 申請時において継続5年以上本学会の会員である者。 3. 日本内科学会認定医、日本外科学会専門医若しくは認定医又は、日本小児科学会専門医若しくは認定医のいずれかの資格を有する者。 4. 2年間の一般研修を終了後、本規則に定める認定施設又は日本消化器病学会専門医制度による認定施設において、別に定める本学会専門医研修カリキュラムに従って、5年以上の肝臓病学の臨床研修を終了した者。ただし、このうち少なくとも1年は本規則に定める認定施設において研修を行うことを要する。 <p><申請書類></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 専門医認定申請書 2. 履歴書 3. 医師免許書（写） 4. 認定施設の研修終了証明書 5. 日本内科学会認定医認定証（写）、日本外科学会専門医若しくは認定医認定証（写）又は、日本小児科学会専門医若しくは認定医認定証（写） <p><審査></p> <p>審議会は、毎年1回申請書類及び試験に基づいて審査を行う。</p>
学会の連携等の概要	<p>当該学会主催の年次学術集会に参加し、肝臓病学全般に関する専門的知識を習得するとともに、教育講演会にも積極的に参加し、より高いレベルの技術習得に努める。</p>

学会等名	日本リウマチ学会
資格名	日本リウマチ学会専門医
資格要件	<p><専門医申請資格></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本国の医師免許証を有し、医師として人格及び見識を備えていること。 2. 申請時において引き続き5年以上学会の会員であること。 3. (中) 日本リウマチ学会が認定した教育施設等において、通算5年以上のリウマチ学の臨床研修を行ったこと。 4. (中) 日本リウマチ学会専門医資格維持施行細則による研修単位を30単位以上取得していること。 5. 関連基本領域学会の認定医或いは専門医の資格を有すること。

	<p><申請書類></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 専門医申請書 2. 履歴書 3. 教育施設等研修終了証明書 4. 取得単位証明書 5. 業績目録 6. 関連基本領域学会の認定医あるいは専門医資格取得記録（又は資格保有証明書） <p><資格認定></p> <p>試験の計画ならびに実施は資格認定委員会が理事会の承認の下に行う。資格認定試験は年1回実施する。</p>
--	---

学会の連携等の概要

当該学会主催の年次学術集会や地方会に参加し、リウマチ学全般に関する専門的知識を習得するとともに、全国ないし地域の教育研修会にも積極的に参加し、より高いレベルの臨床能力獲得に努める。

学会等名	日本アレルギー学会
資格名	日本アレルギー学会認定専門医
資格要件	<p><専門医申請資格></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本国の医師免許を持つ医師であること。 2. 認定時に引き続き5年以上この法人の会員であること。 3. 内科、小児科、耳鼻咽喉科、皮膚科、眼科などの基本領域の学会の専門医（認定医）資格の認定を受けていること。 4. 基本領域の臨床研修を含め通算6年以上の臨床研修歴を要する。この研修 <ul style="list-style-type: none"> 歴6年の内、通算3年以上は社団法人日本アレルギー学会認定教育施設等 において、日本アレルギー学会指導医または「専門医」のもとで、所定のカリキュラムに従ったアレルギー学の研修を要する。 5. 最近の5年間に自ら診療しているアレルギー疾患患者40名分の診療実績書の提出。 6. 最近の5年間にアレルギー学の業績が50単位以上あること、ただし、日本アレルギー学会秋季学術大会および春期臨床大会への出席3回以上を含めるものとする。 7. 「専門医」資格認定試験に合格していること。 <p><申請書類></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本アレルギー学会専門医認定申請書 2. 履歴書（医師免許の写し添付） 3. 各基盤学会専門医（認定医）認定証の写し 4. 日本アレルギー学会認定教育施設での研修終了証明書

5. 指導医（或いは専門医）の推薦書
6. アレルギー疾患患者名簿
7. 必要単位の証明に関する用紙

<資格認定>

日本アレルギー学会専門医試験は翌年 1 月下旬とし、認定の最終審査は 3 月 20 日までに制度委員会が行い、結果は 3 月末までに本人に通知する。

学会の連携等の概要

当該学会主催の年次学術集会に参加し、アレルギー学全般に関する専門的知識を習得するとともに、全国ないし地域の教育セミナーに積極的に参加し、より高いレベルの臨床能力獲得に努める。